

東日本大震災から10年



平成23年3月11日、「東日本大震災」へとつながった巨大地震発生から、今年で10年となりました。特に東北3県の沿岸部は津波により、大きな被害が発生。本町は震度6弱を観測し、人的被害はないものの、停電や道路損傷の他、店舗へ買い物客が殺到したことによる混乱など、多くの人が、不安を感じながらの生活を余儀なくされました。

本特集「未来へ」では沿岸被災地との交流を現在まで続けている町内の団体、防災に関する各種取り組みを紹介します。

震災を教訓として、今後起こりうる大災害に対し「どのような準備をするのか」「自分や家族、大切な人を守るために必要なことは何か」。

私たちが襲った未曾有の災害から大きな節目を迎えたことを機に、これからの暮らしの安全・安心を保つために何が大切か、改めて考えていきましょう。



国 岡 森 通センター
 National Center
 13 矢中郵便局
 130 Yabu Post Office

**【震災】地震発生日時に
黙とうをお願いします**

3月11日で東日本大震災から10年となります。犠牲者となられた方に哀悼の意を表し、被災地の復興を祈るため、地震が発生した日時に合わせて町内の屋外放送設備で鐘の音を鳴らします。これに合わせて、黙とうされますよう、お願いします。

▼日時 3月11日(木)午後2時46分
▼問い合わせ 役場総務課 防災安全室 (☎ 611-2708)

※写真は複数枚を組み合わせて作成



**写真で見る
町内の地震直後の様子**

上の写真は、地震発生から1カ月以内に撮影したものです。町内では道路の損傷などにより各地で通行止めが発生。また、燃料や生活物資不足の不安から、ガソリンスタンドやスーパーで連日、長蛇の列ができるなど、さまざまな被害や影響が出ました。

町は町内福祉施設や沿岸地域で給水支援を実施。また、町民の皆さんから県内各地や友好都市・普代村向けの義援金を募りました。各種団体からの寄付も行われ、現在まで復興事業などに生かされています。